

まえがき

太田金山城のイベントの時だった。関東では珍しい石垣造りの城である太田金山城について、今回の中井均先生、齋藤慎一先生とぼくとで、あーだこーだと語り合い楽屋に戻った時に、中井先生から「これ、おもしろいから本にしませんか？」という提案があり、トク後で少し興奮していたのか「いいですねー」なんて話になった。

あれよあれよ、という間に具体的な話になって今回の出版へと行き着いたのだが、高志書院からは中井先生と齋藤先生で『歴史家の城歩き』という本が出版されているので、そこに乗っかる形になって申し訳ない気にもなった。それでもヤル気になったのは、基本仕事は断らないようにしているのと、何しろおもしろそうな話だったからだ。

中井均・齋藤慎一という城郭研究の最前線にいる先生お二人とお城を觀に行けて、それが本になるなんて、城マニアとしては最高の喜びだし、お城の本も何年も前に『城歩きのススメ』という本を出版したが、あれはぼくが大好きなお城、特に中世城郭を、城に全く興味のない人たちに、その楽しさを知ってもらおうと、落語家としての立場から、なるべく読みやすく、簡単にわかるように書いたもので、それとは全く違うアプローチの本になるのは確実であろうと思っただからだ。

かくして取材先も山梨県と決まり、城見学が始まったが……、案の定おもしろかった。縄張り図を手掛かりに、現場検証の中で縄張り図では浮かんでこなかった城の形や、縄張りの意味、時代、製作者を紐解くという作業は非常に興味深く楽しい時間だった。

ぼくの勝手な推論や妄想を、二人の城研究の第一人者の前でしゃべるのはおこがましいが、城好きの人たちからは春風亭昇太は要らないんじゃないのと思われるかもしれないが、この本にぼくのような素人が入っているつてことにも、多少の意味もあるとも思っている。「今この時代の城好きは幸いである……」ぼくはそう思っている。それはお城、特に中世城郭が研究対象として注目されたのは最近の話で、城郭研究は黎明期だからだ。実際、最近は定説だと思われていた事柄が発掘調査などで覆されたり、新しい発見があったりなんてことばかり。

だからこそ、素人も研究者と一緒に意見を交わせることができるわけで、そんな今が城好きにとつて幸せなのだと思う。何年も経つて、もつと研究が進んだら、城好きが、何か発しても「あー、それ君ねー、違うよ」と鼻で笑われて終わってしまうだろう。

この本で言っていることも、時が経ったら覆されるかもしれないが、そんなことも承知の上。この本が、さらに深く城を楽しもうという人たちに、ほどよい参考や刺激になれたらありがたいと思います。

では、城が好きで好きでたまらないオジサンたちのお城旅行に一緒にお付き合下さい。

春風亭昇太

中井 「え、もう躑躅ヶ崎に戻るの！ ここまでやったのにい」。
昇太 「だから最初からムダって言ったのにー」（一同爆笑）

武田時代の虎口とルートの付替え

中井 「小芝居しながらの道すがら…」 内枳形2から登っていくあたりの城道しろみちはフックとターンの造り方で⑭、豊臣の但馬竹田城たじまたけじょう（兵庫県）みたいに、なんとかセコいやり方。齋藤 でも郭5くわくごに上がる虎口a⑫はしつかりしているよ。
中井 おっ！ 虎口を土橋どばし状にしている。

齋藤 土橋状にして、ステップを置いた斜路しゃろになってるね。そしてまっすぐに平入りひらいりさせている。ストレートに石段を上げるような虎口の造り方は、戦国の山城にはたまにあるけど、近世にはないんだよ。

昇太 へえ、そうなんだ。この虎口aのまわりにも石を貼ってますね。武田の頃の虎口に石を貼ったんですか？

齋藤 そんな気がする。城造りには、象徴的な門をどこに造るのが、大きな意味があるから、今まで見た二つの枳形はかなり象徴的な門で、織豊段階は枳形門を大事にしていたんだね。

昇太 虎口aは武田？

齋藤 という気がする。枳形ではなくて、平入りの虎口だし。

昇太 体裁よく武田時代の門のところに、石垣を貼ったということですね。

⑫郭5に入る平入りの虎口a



齋藤 かなあつて……

中井 改修時に石を貼るんだな。「しばらくまわりを探さく中……」

齋藤 おつ、すごいよ。虎口bにはセットバックの石垣⑬があるよ。

中井・昇太 うおつ、ほんとだ！

中井 この虎口bの真上に櫓台やぐらだがあつてもおかしくないな⑭。

齋藤 虎口bの前にあるテラスは内枳形の発想に近いね。内枳形2からの折れをもたせた通路と連続させて、ここに上がらせるんだよ(図⑭のルートB)。

中井 それは改修でしょ。

齋藤 たぶん。

中井 内枳形2の門を出て、右に折れて、左に折れて、また右に折れさせているわけね。

昇太 武田時代のルートはどうなっていたんだろう？

齋藤 どういうふう道をつけていたかね。虎口bの先にも虎口らしいのがあるな。

中井 これは虎口cでしょう。

齋藤 だよね。この虎口cの先は斜面が急だから、かけ橋*を付けたのかな。この道がどこにつながっているか？ (かけ橋…きつい斜面に造る簡易な木橋状の道)

中井 細い道だけど法面のりめんを石で決めとるね。

齋藤 かけ橋ではなくて、もともとあつた地べたの通路が崩れたのかもしれないね。すごく細い道だな。



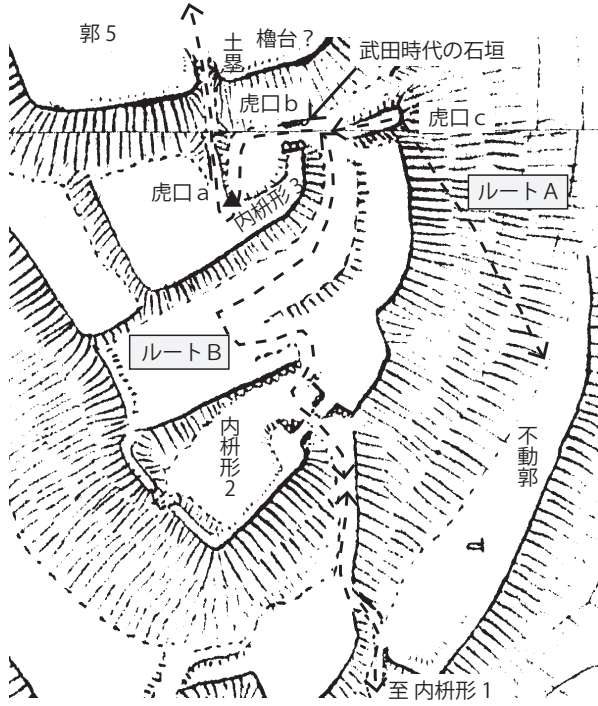
⑬ 虎口bの平たい石を使ったセットバック石垣

中井 これはいい城道ですよ。

齋藤 ちよつと先まで見えます(一人ではしヤブコギ) ヤブで奥まで行けなかったけど、この細い道はどうやら内枳形2に向かわず、その外側に行くようだよ。もしかしたら不動郭とつながっているかもね(図⑭のルートA)。ということは、大きく道を付け替えたってことだな(ルートAからBへ)。そのほうが郭5からの見通しもいいしね。

中井 内枳形2から虎口bまでは、郭面の確保より、城道をいかに折り曲げて主郭まで行かすかという問題ですね。

齋藤 そうでしょう。



⑭郭5へのルートの付け替え想定図